

# 三重県競技力向上対策本部

## 第10回本部会議



令和4年6月20日（月）

津アストホール



**三重県競技力向上対策本部**  
**第10回本部会議 資料目次**

○ 三重県競技力向上対策本部第10回本部会議式次第	P	3
○ 講演		
「スポーツの持つ価値」 日本体育大学 教授 杉田 正明 様	P	7
○ 報告事項		
(報告事項1) 委員及び役員の変更	P	11
(報告事項2) 三重県競技力向上対策本部会議等の開催経過	P	12
(報告事項3) 第77回国民体育大会冬季大会三重県選手団報告等	P	16
(報告事項4) 令和3年度補正予算の専決処分	P	18
(報告事項5) 三重県競技力向上対策本部第16回及び第17回競技力向上対策委員会に係る概要	P	19
(報告事項6) 三重県競技力向上対策本部第17回競技力向上対策委員会の審議決定事項	P	26
(報告事項7) 令和4年度暫定予算の専決処分	P	66
○ 審議事項		
(第1号議案) 三重県競技力向上対策本部の継続と今後の競技力向上に係る取組方針(案)	P	69
(第2号議案) 三重県競技力向上対策本部規約改正等(案)	P	70
(第3号議案) 令和3年度事業報告(案)	P	74
(第4号議案) 令和3年度収支決算(案)	P	77
(第5号議案) 令和4年度事業計画(案)	P	79
(第6号議案) 令和4年度収支予算(案)	P	81
○ その他		



# 三重県競技力向上対策本部 第10回本部会議 式次第

令和4年6月20日(月)

津アストホール

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 講 演

「スポーツの持つ価値」 日本体育大学 教授 杉田 正明 様

## 4 報告事項

- (報告事項1) 委員及び役員の変更
- (報告事項2) 三重県競技力向上対策本部会議等の開催経過
- (報告事項3) 第77回国民体育大会冬季大会三重県選手団報告
- (報告事項4) 令和3年度補正予算の専決処分
- (報告事項5) 三重県競技力向上対策本部第16回及び第17回競技力向上対策委員会に係る概要
- (報告事項6) 三重県競技力向上対策本部第17回競技力向上対策委員会の審議決定事項
- (報告事項7) 令和4年度暫定予算の専決処分

## 5 審議事項

- (第1号議案) 三重県競技力向上対策本部の継続と今後の競技力向上に係る取組方針(案)
- (第2号議案) 三重県競技力向上対策本部規約改正等(案)
- (第3号議案) 令和3年度事業報告(案)
- (第4号議案) 令和3年度収支決算(案)
- (第5号議案) 令和4年度事業計画(案)
- (第6号議案) 令和4年度収支予算(案)

## 6 その他

- (情報共有事項1) 強じんな美し国ビジョンみえ(最終案)について(別冊)
- (情報共有事項2) みえ元気プラン(最終案)について(別冊)

## 7 閉 会



# 講演





## ～ 講師プロフィール～

- 1 お名前 杉田 正明（すぎた まさあき）教授
- 2 所属先、役職 日本体育大学 体育学部 体育学科 教授
- 3 プロフィール

1966年2月生れ。

1991年3月三重大学大学院修了、同年5月から東京大学教養学部助手、1996年4月から同大学院総合文化研究科助手、1999年4月三重大学教育学部助教授、2011年4月同教授を経て2017年4月から現職。

国際競技力向上に関する支援活動に携わり、2010FIFA ワールドカップでは、40日間日本代表チームに帯同し、高地対策 やコンディション管理を支援し、ロンドン、リオデジャネイロオリンピック等では競歩、マラソン代表選手をはじめ多くの選手の科学的支援を行った。

オリンピック競技大会「東京2020」において、JOC本部役員、情報・科学サポート部門部門長としてTEAM JAPANを牽引し、その躍進に貢献した。

本県のスポーツ分野において多方面からご支援をいただいている。

### 【講演メモ】



# 報 告 事 項



## 委員及び役員の変更

	選出区分	所属機関・団体・役職名	新	旧
本部長	県関係	三重県知事	一見 勝之	鈴木 英敬
委員	県議会関係	三重県議会議長	前野 和美	青木 謙順
	市町関係	三重県市長会会長	末松 則子	竹上 真人
	学校・スポーツ 団体関係	三重県中学校体育連盟会長	北村 浩久	山口 勉
監事	県関係	三重県出納局副局長兼出納総務課長	藤本 典夫	下田 二一

## 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過

年月日	内 容
平成23年 1月15日	県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出しました。
平成24年 1月11日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内々定されました。
平成25年 5月29日	三重県競技力向上対策本部「設立会議」、「第1回本部会議」を開催しました。
6月 3日	三重県競技力向上対策本部「第1回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第1回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月13日	三重県競技力向上対策本部「第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月16日	三重県競技力向上対策本部「第1回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成26年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第2回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月22日	三重県競技力向上対策本部「第2回本部会議」を開催しました。
10月 1日	三重県競技力向上対策本部「第3回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月13日	三重県競技力向上対策本部「第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成27年 3月19日	三重県競技力向上対策本部「第4回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月23日	三重県競技力向上対策本部「第3回本部会議」を開催しました。

9月 4日	三重県競技力向上対策本部「第5回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月4日	三重県競技力向上対策本部「第3回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第3回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月25日	三重県競技力向上対策本部「第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成28年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第6回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第4回本部会議」を開催しました。
7月20日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内定されました。
9月14日	三重県競技力向上対策本部「第7回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月22日	三重県競技力向上対策本部「第4回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成29年 3月23日	三重県競技力向上対策本部「第8回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第5回本部会議」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第5回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月20日	三重県競技力向上対策本部「第9回競技力向上対策委員会」を開催しました。

平成30年 3月14日	三重県競技力向上対策本部「第10回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第6回本部会議」を開催しました。
7月18日	公益財団法人日本スポーツ協会理事会にて、2021年第76回国民体育大会の開催地として正式に決定されました。
10月23日	三重県競技力向上対策本部「第6回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第6回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第6回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第11回競技力向上対策委員会」を開催しました。
平成31年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第12回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第7回本部会議」を開催しました。
令和元年 10月28日	三重県競技力向上対策本部「第7回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第7回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月 1日	三重県競技力向上対策本部「第7回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月21日	三重県競技力向上対策本部「第13回競技力向上対策委員会」を開催しました。
令和2年 2月20日	三重県競技力向上対策本部「第14回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月 1日	三重県競技力向上対策本部「第8回本部会議」を開催しました。
令和3年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第15回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月 1日	三重県競技力向上対策本部「第9回本部会議」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第16回競技力向上対策委員会」を開催しました。



令和4年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第17回競技力向上対策委員会」を開催しました。
---------------	--------------------------------------

## 第77回国民体育大会 三重県選手団入賞一覧

## 個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属 《ふるさと登録》	得点
2	スキーマー (クロスカントリー)	成年女子 B	5kmクラシカル	渡邊 祐佳	(公財)三重県スポーツ協会	7点
5	スキーマー (ジャイアントスラローム)	成年女子 B		中澤 真緒	(公財)三重県スポーツ協会	4点
	スケート (スピード)	成年男子	1000m	辻本 一史	(公財)三重県スポーツ協会	4点
7	スケート (スピード)	成年女子	1500m	富田 裕香	(公財)三重県スポーツ協会	2点

第77回国民体育大会冬季大会

男女総合成績(天皇杯)順位 27位

競技得点 17点

得点合計(参加点含む) 47点

女子総合成績(皇后杯)順位 23位

競技得点 13点

得点合計(参加点含む) 33点

## 【参考】

## 北京オリンピック2022 日本代表選手団(三重県関係分)

競技名	種目	氏名	所属 《ふるさと登録》
スキーマー (クロスカントリー)	スキー	児玉 美希	(公財)三重県スポーツ協会
	30kmフリー		
	20kmフリー		
スピードスケート		小坂 凜	(公財)三重県スポーツ協会

第77回国民体育大会冬季大会都道府県総合成績一覧

報告事項3-2

令和4年2月20日（日）時点

No.	都道府県名	男女総合成績（天皇杯）					女子総合成績（皇后杯）			
		得点合計	順位	スケート	アイスホッケー	スキー	得点合計	順位	スケート	スキー
1	北海道	466.00	1	172.50	90.00	203.50	146.50	2	83.00	63.50
2	青森県	98.00	18	20.00	35.00	43.00	40.00	18	19.00	21.00
3	岩手県	103.00	16	50.00	10.00	43.00	51.00	13	32.00	19.00
4	宮城県	48.00	25	25.00	10.00	13.00	35.00	22	25.00	10.00
5	秋田県	136.00	9	10.00	10.00	116.00	50.00	14	10.00	40.00
6	山形県	115.00	13	52.00	10.00	53.00	59.00	8	36.00	23.00
7	福島県	33.00	32	13.00	10.00	10.00	23.00	27	13.00	10.00
8	茨城県	59.00	21	25.00	10.00	24.00	40.00	18	25.00	15.00
9	栃木県	140.00	7	94.00	30.00	16.00	52.00	12	38.00	14.00
10	群馬県	124.00	12	89.00	10.00	25.00	45.00	15	33.00	12.00
11	埼玉県	155.00	5	65.00	75.00	15.00	53.00	10	43.00	10.00
12	千葉県	58.00	22	28.00	20.00	10.00	20.00	30	10.00	10.00
13	東京都	171.00	3	83.00	75.00	13.00	62.00	7	52.00	10.00
14	神奈川県	149.00	6	85.00	50.00	14.00	72.00	5	62.00	10.00
15	山梨県	109.00	14	89.00	10.00	10.00	86.00	4	76.00	10.00
16	新潟県	139.00	8	10.00	10.00	119.00	56.00	9	10.00	46.00
17	長野県	402.00	2	254.00	10.00	138.00	163.00	1	111.00	52.00
18	富山県	99.00	17	26.00	20.00	53.00	44.00	16	23.00	21.00
19	石川県	35.00	31	10.00	10.00	15.00	23.00	27	10.00	13.00
20	福井県	47.50	26	19.50	10.00	18.00	10.00	38	0.00	10.00
21	静岡県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	20.00	30	10.00	10.00
22	愛知県	160.00	4	125.00	25.00	10.00	65.00	6	55.00	10.00
23	三重県	47.00	27	16.00	10.00	21.00	33.00	23	12.00	21.00
24	岐阜県	107.50	15	46.00	10.00	51.50	38.50	20	22.00	16.50
25	滋賀県	57.00	23	34.00	10.00	13.00	23.00	27	10.00	13.00
26	京都府	84.00	20	36.00	35.00	13.00	31.00	24	18.00	13.00
27	大阪府	88.00	19	68.00	10.00	10.00	44.00	16	34.00	10.00
28	兵庫県	132.00	11	109.00	10.00	13.00	53.00	10	43.00	10.00
29	奈良県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	20.00	30	10.00	10.00
30	和歌山県	20.00	44	0.00	10.00	10.00	10.00	38	0.00	10.00
31	鳥取県	32.00	33	10.00	10.00	12.00	20.00	30	10.00	10.00
32	島根県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	20.00	30	10.00	10.00
33	岡山県	51.00	24	27.00	10.00	14.00	37.00	21	27.00	10.00
34	広島県	46.00	28	25.00	10.00	11.00	30.00	25	19.00	11.00
35	山口県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	10.00	38	0.00	10.00
36	香川県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	0.00	46	0.00	0.00
37	徳島県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	10.00	38	0.00	10.00
38	愛媛県	37.00	29	17.00	10.00	10.00	20.00	30	10.00	10.00
39	高知県	20.00	44	0.00	10.00	10.00	10.00	38	0.00	10.00
40	福岡県	136.00	9	108.00	10.00	18.00	99.00	3	81.00	18.00
41	佐賀県	20.00	44	0.00	10.00	10.00	10.00	38	0.00	10.00
42	長崎県	20.00	44	0.00	10.00	10.00	0.00	46	0.00	0.00
43	熊本県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	20.00	30	10.00	10.00
44	大分県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	10.00	38	0.00	10.00
45	宮崎県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	20.00	30	10.00	10.00
46	鹿児島県	37.00	29	17.00	10.00	10.00	27.00	26	17.00	10.00
47	沖縄県	30.00	34	10.00	10.00	10.00	10.00	38	10.00	0.00

【 令和3年度補正予算の専決処分 】

三重県競技力向上対策本部 令和3年度補正予算

1 収入

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	補正予算の内容	補正後予算額
負担金	418,752	0		418,752
収入合計	418,752	0		418,752

2 支出

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	補正予算の内容	補正後予算額	
事業費	会議費	4,000		4,000	
	三重とこわか国体少年選手強化指定事業	1,200		1,200	
	チームみえスーパージュニア強化指定事業	9,100		9,100	
	チームみえ国体選手強化事業	278,611	6,240	各競技団体への強化費増額を見込む	284,851
	女性アスリートタレント発掘・育成事業	10,000		10,000	
	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	36,120	9,200	10月以降の追加支援を見込む	45,320
	オリンピック等選手強化指定事業	2,200		2,200	
	トップアスリート応援事業	7,400		7,400	
	みえのアスリート応援・発信事業	5,631		5,631	
	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	64,475	△ 15,440	マルチサポートの見込み減、県外研修の見込み減等により所要見込額を精査	49,035
事務局費	15		15		
支出合計	418,752	0		418,752	

## 三重県競技力向上対策本部第16回競技力向上対策委員会に係る概要

令和3年11月19日（金）  
三重県総合文化センター 中会議室

## (1) 目標と取組について

- ・ 前回の三重国体のあとは競技力が著しく低下し、天皇杯 40 位台の常連となつてしまった。その反省を生かし、急激に競技力が低下しないよう、競技力向上対策本部を継続し、必要な事業や制度を残し、引き続き支援していく必要がある。
- ・ 三重とこわか国体に向けては、強化費の支援により、全国の強豪県との強化試合やアドバイザーの招聘を行うことができ、競技力の向上につながった。栃木国体で天皇杯 10 位以内をめざすためには、引き続き必要な予算を確保していただき、このような活動を継続していく必要がある。
- ・ 三重とこわか国体に向けて高まった競技力を今後も維持していく必要があり、そのためには次の目標を定めることが必要である。
- ・ これまで、あまり活躍ができなかった競技についても、地元国体に向けて強化を図り、競技力が向上した。この意欲や責任感がなくなってしまうよう、できるだけ早期に国体を開催し、今回の国体に向けて盛り上がった機運を次に繋げていくべきである。
- ・ 岐阜県では、岐阜国体以降ハンドボールのチームがトップリーグで活躍し続けている。継続した競技力向上の取組、継続して選手が活動できる環境作り、仕組み作りが重要である。
- ・ 来年の目標だけでなく、これまでの取組の成果を評価し、残していく取組、充実させていく取組、削っていく取組を検証していく必要がある。
- ・ 継続した強化の取組が重要であると考え、県のスポーツに対する姿勢をしっかりと示していく必要がある。
- ・ これまでに培ってきたノウハウ、取組は大きな財産となったと考えている。特に 17 本の事業はこれまで十分な時間と協議を重ねて作り上げてきたものであり、これらを未来につなげていく必要がある。そのために、競技力向上対策本部は必ず存続していくべきである。
- ・ 指導者や競技団体の熱量が重要である。また、その熱量に応えるための環境や仕組みが必要であり、さらに競技力向上対策本部事務局、三重県スポーツ協会も熱量を持って取り組む必要がある。やる気とお金が成績に直結する。
- ・ 1 年、2 年という短期の目標だけではなく、長期にわたって県全体でスポーツをやっていくムードを作っていく必要がある。

- ・これまでに何年もかけて取り組んできた成果は、来年度1年間で問われることではなく、これから何年かの成果に表れてくるものであると考える。来年の目標だけでなく、スローガンを掲げて中長期的な目標設定が必要である。

## (2) 基本方針における5つの取組の課題と競技力向上の取組について

### ① ジュニア及び少年選手について

- ・高校入学前の中学生が高校の部活動に参加することが認められなかったり、高校の教員が中学校を訪問できるのが10月からと制限されたりしているため、県立高校の指導者が声をかけるタイミングでは既に有力選手の進路が他県に決まっている場合が多く、高校進学時の県外流出の原因となってしまう。
- ・高校に入学してくる選手が、4月まで部活に参加することができず、競技力の低下につながっている。早い段階で、高校の練習に参加させることができるようにしてほしい。
- ・現在は各学校単位で県外からの入学可能人数が決められており、一校で複数の有力競技がある場合、一競技当たりの人数が非常に少なくなっている。学校単位でなく、部活動単位での人数設定となるよう、制度の見直しをお願いしたい。
- ・栃木国体10位以内は非常に大きなハードルであり、他県から少年選手を確保する必要がある。他県からの選手獲得にあたり、トップアスリート応援事業が非常に有効であり、制度を継続していただきたい。
- ・令和5年度に土日の運動部活動は地域クラブへと移行していく流れとなっており、現状の部活動がどのようになっていくのかが心配される。現存の地域クラブは競技や地域に偏りがあり、地域によっては競技の火が消えてしまう恐れがある。
- ・中学校の部活動は金銭的な負担がなかったことで、裾野を広げる意味で大きな役割を担っていた。今後、金銭的な受益者負担を求めることとなると、運動をしなくなる生徒の増加により、裾野の広がりに支障を来す恐れがある。
- ・高校でも部活動の改革、活動時間の見直し等により、環境が大きく変わる可能性がある。指導者の確保とともに、教員と指導者の両立ができるような環境づくり、仕組みづくりが必要である。
- ・岐阜県では清流キッズという制度でいろいろな競技を体験させて、マイナー競技の発掘を行っている。三重県でもこのような制度を取り入れても良いのではないかと。
- ・若い選手を継続的に順序立てて強化していくプロセスを根付かせていく必要がある。

## ② 成年選手について

- ・大学運動部、企業・クラブチーム強化指定の継続をお願いしたい。県から指定されることで、社内での競技に対する理解に繋がる。また、県からの期待の表れでもあると捉えており、選手への良い刺激となっている。
- ・成年選手として、中学校教員で採用された選手がオリンピック選手となった。継続して競技力を維持向上させていくためには、サポート制度が必要であると考えます。

## ③ 指導者について

- ・指導者の養成をこれまでに行ってきたおり、今後も継続的に実施をしていきたいと考えているため、できる限り支援をお願いしたい。
- ・指導者養成の研修として、チームみえ・コーチアカデミーセンター事業を幅広い世代での指導者が受講できるようにしていただきたい。
- ・チームみえ・コーチアカデミーセンター事業により指導者の養成をしていただき、今後に繋がる指導者に成長してもらった。

## ④ 環境整備について

- ・ボート競技においては、競技用具の整備が非常に効果的であった。性能の高い用具を整備していただいたことで、競技力の向上に直結した。今後は、経年劣化が想定されることから、継続して支援していただきたい。

## ⑤ しくみづくりについて

- ・選手の広報を引き続き行っていただくことが、選手のモチベーションに繋がる。
- ・予算の確保に向けては、世論の形成が重要である。メディアの活用や、一般の方との交流により、スポーツと遠い人に向けても発信し、意識を醸成する必要がある。
- ・ボランティアや応援活動への参加希望がたくさんあり、広報・啓発による盛り上がりを感じた。今回の国体で盛り上がった機運を活かし続けていく必要がある。
- ・他の競技団体や選手との交流し、それぞれのノウハウや取組を知ることができ場を設けていただきたい。
- ・就職支援事業により採用された選手を、学校や地域の出前事業に派遣することで、雇用している選手が地域のために貢献でき、企業から喜ばれることが多い。子どもたちがトップ選手に触れる機会にもなり、スポーツに対する大きなモチベーションとなる。

- ・年1回デンソーカップを開催して、県内の子どもと交流する場を設けており、企業が雇用する選手の地元貢献に繋がる。トップ選手と学校の生徒を結びつける仕組みが効果的だと考える。
- ・各市町は大会運営を通じて競技団体と信頼関係が築いていけたと考えている。継続的に競技団体、市町を巻き込んで普及、動機付けを行う必要がある。
- ・大規模大会の誘致により、継続した刺激となっていくのではないかと考えている。経済効果だけでなく、地域作りに繋がっていく。

#### (その他)

- ・これから様々なことを検討していく中で、ここでの意見を伝え、実現に向けて取り組んでいきたい。コロナ禍でも、競技力向上を止めることなく実施していけるよう、対策や方法を考えていく必要があると考えている。



## 三重県競技力向上対策本部第17回競技力向上対策委員会に係る概要

令和3年3月24日（木）

男女共同参画センター セミナー室C

## 1 令和4年度競技力向上に係る取組等について

- ・国体を開催するにあたっては、スポーツと関わりの少ない人も含めて県民全員を巻き込んで前に進む必要がある。
- ・国体開催については、3巡目を待たずに早い段階で開催したいとの意向を報道で目にしたが、現状を教えてほしい。
- 詳細な開催年度等はまだ決まっていないが、財政的なことや県民の意識の醸成等も含め、なるべく早期に開催できるよう取り組んでいきたい。
- ・中・長期的な競技力向上対策がないと、見通しが立たず、強化が計画的に実施できない。県の総合計画への記載も含め検討してほしい。
- ・次の世代の子どもたちにスポーツの魅力を伝えることで、競技人口を増やしていく必要がある。
- ・サッカーの場合、Jリーグのチームが県内にあるかないかで、競技人口が大きく変わる。選手数だけでなく、指導者数も大きく変わることからシンボリックチームを設立し、選手や指導者の県外流出を防ぐ必要がある。
- ・日頃の協力、支援には大変感謝している。その甲斐もあって良いチームになった。競技団体が財政的、精神的に疲弊しているが、目標も必要であるため、出来るだけ早期の国体開催を期待している。
- ・三重国体が開催されず、もう一回栃木に向けてやろうとしている中で、最終的なゴールがないと、競技団体としては中・長期的な取組として、準備が出来ないため、時期国体開催をなるべく早期に決めてもらいたい。
- ・スポーツにはどういった効果があるのか等を県民に向けて打ち出し、国体やスポーツの意義を理解してもらうことが重要である。
- ・スポーツで夢が見られる場所が三重にあることは財産であり、シンボリックチームがそれに当たる。今後の競技力の維持については、お金が必要になってくるが、お金をかけるだけの価値があるのかを県民に認めてもらうことが重要である。

- ・指導者は根気、情熱、愛情の3つが大切になる。対策本部の継続はもう一度栃木国体に向けて頑張ろうと思えるが、成年選手の確保が一番難しいところではあり、継続して取り組んでもらいたい。
- ・これだけ強化費と体制が残ったので、競技団体としてはやらなければならない。ただ、三重国体がなくなったことで強化のために呼んだ県外選手は地元に戻り、残ったのは、少年時代から頑張っていた地元選手である。地元選手を大事にしていく必要がある。
- ・成年選手とともに活動したことで、少年選手のパフォーマンスも向上する体制を作れたので、今年度の県外流出は少数に限られた。このことから日頃の選手の育成・強化の重要性を感じている。
- ・スポーツドクターの視点からもシンボリックチームがいないとドクターの流出も防げない。
- ・10年前の予算は多くなかったが、どうにかしてやらないといけないという気持ちが強く、熱意はあった。次の目標がないのにどうすればよいか不安なのが現状である。競技団体の指導者・選手の熱意は大切であり、現状の把握は大切である。

## 2 令和4年度競技力向上対策事業について

- ・応援発信事業を活用し、幅広く競技活動を知ってもらうことにより、選手は県の代表としての自覚が生まれ、モチベーションに繋がるのではないかと。
- ・競技力向上対策本部や予算が残ったことは大変素晴らしいことであり、感謝している。これを新たなスタートとして進めていっていただきたい。行政がやれば、結果はついてくる。
- ・強化指定を行うことで、成年選手のモチベーションの向上に繋がり、三重県選手として出場してくれることも多い。
- ・ボート競技として、競技用具が結果に直結するため今後も支援は続けて欲しい。
- ・環境整備を行うことで、子どもたちがスポーツにふれあう機会を増やすことが将来の競技力向上に繋がる。
- ・国体に向けて指導者を養成したコーチアカデミーは競技団体として非常にありがたい。
- ・医科学サポートの充実については、今後も是非とも続けていって欲しい。

### 3 情報共有

- ・現在の全中の参加条件は都道府県中体連に加盟しているチームとなっており、合同チームでの出場も可能である。令和5年度からクラブチームなどの参加も認める予定であり、令和4年度の早い段階で何らかの決定は行う。今後の懸念事項として、選手への保障や大会運営のあり方等整備しなければならないものはたくさんある。
- ・高体連としては、今合同チームの参加を認められるかどうかの議論を行っており、中体連と高体連では議論の進み具合が違う。中体連の動きを見て、今後高体連の動きが変わる可能性もある。また、外部コーチに関しては報償費を払うことになるが、教員がその立場になると労働基準法の制限が壁になってくるのが現状である。
- ・部活数に対して人数は減ってきているので、各校のクラブ設置数が減ってきている。クラブチームを入れることにより、活動の幅が広がるのは良いことである。
- ・所属中学校にやっている部活がない選手もおり、特別に外部で行う選手もいる。問題があった際に生徒が板挟みにならないような対策は必要である。
- ・前回の国体後は8年後に最下位になっている。平均すると33.5位であり、10位以内は2回だけ。国体後多くの県が3年すると元の順位に戻ってしまうのが現状であり、三重県がそうならないためには、数年後、どの順位を目指すか明確にすることが重要である。
- ・客観的な評価に基づいて目標設定を行い、選手の発達・育成・強化のシステムの確立、コーチの育成、医・科学のサポート、県民のスポーツに対する興味の5つは外せないテーマになる。

令和4年度競技力向上対策事業について

	事業名	対象
①	チームみえジュニア育成事業	ジュニア・少年選手
②	ジュニアクラブ・運動部強化指定事業	
③	高等学校運動部強化指定事業	
④	チームみえスーパージュニア強化指定事業	
⑤	三重県アスリートタレント発掘・育成事業 (スーパー☆プロジェクト)	
⑥	トップアスリート応援事業	
⑦	チームみえ国体選手強化事業	少年・成年 選手共通
⑧	女性アスリートサポート事業	
⑨	パラリンピック等選手強化指定事業【新規】	
⑩	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手
⑪	オリンピック等選手強化指定事業	
⑫	トップアスリート就職支援事業	
⑬	ふるさとタレントアスリート強化指定事業【新規】	
⑭	スポーツ指導員配置事業	指導者
⑮	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	
⑯	競技用具等整備事業	環境整備
⑰	競技団体・チームサポート事業【新規】	
⑱	みえのアスリート応援・発信事業	広報啓発

## チームみえジュニア育成事業 実施方針

令和4年度当初予算【30,000千円】

### 1 目的

全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手（小学生・中学生）を「チームみえジュニア」として指定し、その育成・強化を目指した活動を支援するとともに、スポーツ体験会による新たなジュニア選手の発掘を支援することで長期的で持続可能な競技力の向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

公益財団法人三重県スポーツ協会加盟の国民体育大会の正式競技である競技団体。

### 3 実施内容

- (1) ジュニア選手（小学生・中学生）に対し、三重県競技力向上対策本部長が「チームみえジュニア指定証」を交付する。
- (2) 各競技団体が取り組む、「チームみえジュニア」の活動を支援するため、必要な経費（以下、強化費という）を配分する。
- (3) 配分については、各競技団体の強化計画等に応じて配分する。
- (4) 強化費については、チームみえジュニアの育成・強化に対して実施する強化・育成活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。
- (5) 各競技団体が実施するスポーツ体験会のチラシを作成し、県内小中学校へ配布する。

### 4 年間計画

4月	強化費の配分額決定
5月	チームみえジュニア決定・指定証発行
4～3月	強化活動支援
7月	スポーツ体験会のチラシ配布
8～10月	各競技団体によるスポーツ体験会の実施

## ジュニアクラブ・運動部強化指定事業 実施方針

令和4年度当初予算【4,500千円】

### 1 目的

今後の国民体育大会等において、少年種別の中心となる選手の育成・強化を目指し、その強化活動を支援し、競技力の向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会の正式競技で、国民体育大会の少年種別での出場と活躍に繋がる実績等を有し、今後も、将来の少年種別を担う選手の育成の拠点となることが見込まれるジュニアクラブ・運動部。

### 3 実施内容

- (1) 強化指定の決定については、別途定める「ジュニアクラブ・運動部強化指定事業選考要領」において、三重県競技力向上対策本部が行う。
- (2) 指定については、令和4年4月から令和5年3月までの単年度指定とする。
- (3) 全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、指導者の報償費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

- |      |                    |
|------|--------------------|
| 4月   | ジュニアクラブ・運動部強化指定の決定 |
| 4～3月 | 強化活動支援             |

## ジュニアクラブ・運動部強化指定事業 選考要領

### 1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「ジュニアクラブ・運動部強化指定事業」に係る指定ジュニアクラブ・運動部を選考するために、必要な事項を定めるものとする。

### 2 選考

#### (1) 選考方法

三重県競技力向上対策本部事務局の原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会が行うものとする。

#### (2) 選考基準

今後も、将来の少年種別を担う選手の育成・強化の拠点となることが見込まれるジュニアクラブ・運動部で次の基準を満たすもの。

- ① 国民体育大会の正式競技で、全国大会（※1）での活躍を目指し、ジュニア選手の育成・強化を担うジュニアクラブ・運動部。
- ② 国民体育大会における少年種別での出場や活躍に繋がる実績（※2）等を有するジュニアクラブ・運動部。

#### ※1 全国大会

- ア 全国中学校体育大会、ジュニアオリンピック。
- イ 全国小学生大会。
- ウ ア・イと同等のレベルと認められる大会。

#### ※2 国民体育大会における少年種別での出場や活躍に繋がる実績

- ア 過去3年間における国民体育大会への出場実績及び令和元年度～令和3年度の全国大会（※1）で、個人競技、団体競技を問わず8位以上の入賞実績を有する。
- イ この他、特に顕著な実績を収めた場合は、三重県競技力向上対策本部が別途指定する。

報告事項6-2-3  
 令和4年3月24日  
 第17回競技力向上対策委員会決定

### 令和4年度強化指定ジュニアクラブ・運動部

ジュニアクラブ・運動部名	競技名（種目名）
三重ダイビングクラブ	水泳（飛込）
みえA.S.C	水泳（AS）
リヴィエール三重	水泳（水球）
三重グリーンテニスクラブ	テニス
宮川ボートクラブ	ボート
相好体操クラブ	体操（競技）
四日市メリノール学院中学校女子バスケットボール部	バスケットボール
INABEレスリングアカデミー	レスリング
みえウエイトリフティングジュニアクラブ	ウエイトリフティング
松生TTC	卓球
鳥羽フェンシングクラブ	フェンシング
KO-WALL三重	スポーツクライミング
鈴鹿ジュニアボウリングクラブ	ボウリング

13クラブ



## 高等学校運動部強化指定事業 実施方針

令和4年度当初予算【20,000千円】

### 1 目的

国民体育大会等の全国・国際スポーツ競技大会において活躍するトップアスリートの育成を目指して、育成・強化の中心となることが期待できる高等学校運動部を指定し、強化活動を支援することで、高校生アスリートの競技力向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

次に該当する高等学校運動部を対象とする。

- (1) 国民体育大会の正式競技であり、三重県高等学校体育連盟（以下、「県高体連」とする。）に加盟する競技専門部に所属する高等学校運動部。
- (2) 国民体育大会の正式競技であり、公益財団法人三重県スポーツ協会に加盟する競技団体（以下、「県競技団体」とする。）に所属する高等学校運動部。

### 3 実施内容

#### (1) 指定期間

- ① 指定期間は、令和4年4月から令和7年3月までの原則3年とする。
- ② 指定を受けた高等学校運動部は、3年継続して指定し、指定最終年度に、見直すこととする。
- ③ 指定期間内にあっても、三重県競技力向上対策本部（以下、「対策本部」とする。）が必要と認めた場合は、指定する高等学校運動部の追加、または指定の取り消しを行うことがある。

#### (2) 指定方法

対策本部は、県高体連、または県高体連に競技専門部がない競技については、県競技団体から推薦を受けた高等学校運動部を指定候補として、三重県教育委員会

(以下、「県教委」とする。)と協議したうえで、次のように指定する。

- ① 指定候補について、別紙推薦要領に基づいて活動状況や国体強化の中心となる位置づけ、全国大会において入賞が見込める運動部かを判断する。

なお、指定候補であっても、活動状況や大会における実績等から、この方針の目的に合致しないと判断する場合は、指定しないことがある。

- ② 指定候補以外でも、この方針の目的に合致すると認められる高等学校運動部を県高体連及び県競技団体等と協議のうえ、指定することができる。

- ③ 強化活動の支援の配分については、指定決定後、対策本部が活動状況、令和4年の全国大会における有力選手の状況を調査したうえで令和4年4月に決定する。

### (3) 補助対象

強化指定運動部に対して、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費に対する補助を予算の範囲内で行う。

## 4 年間計画

4月	強化指定運動部の決定
4月～5月	指定証交付式
4月～3月	強化活動の支援

## 高等学校運動部強化指定事業 推薦要領

### 1 対象

下記のいずれかに該当する高等学校運動部を対象とする。

- (1) 国民体育大会の正式競技で、三重県高等学校体育連盟（以下、「県高体連」とする。）に加盟する競技専門部に所属する高等学校運動部。
- (2) 国民体育大会の正式競技で、三重県スポーツ協会に加盟する競技団体（以下、「県競技団体」とする。）に所属する高等学校運動部。

### 2 推薦基準

- (1) 全国大会において活躍するトップアスリートの育成に向けて、国民体育大会で三重県代表チームの強化の中心となることが期待できる高等学校運動部であること。
- (2) 各競技専門部において指定する上限数は別表のとおりとする。

### 3 推薦方法

- (1) 県高体連の各競技専門部は、推薦基準に基づき、県競技団体と十分協議のうえ、高等学校運動部を県高体連に推薦する。
- (2) 県高体連は、各競技専門部の推薦を取りまとめ、三重県競技力向上対策本部に推薦する。
- (3) 県高体連に競技専門部がない競技については、県競技団体が推薦基準に基づき、対策本部に推薦する。
- (4) 推薦する高等学校運動部は、実態として男女別々に活動している場合は男子・女子を区分し、同じ高等学校で男子、女子ともに推薦基準を満たし、かつ、男女合同で活動している運動部については、男女を区別することなく、ひとつの運動部として推薦することができる。

【別表】 令和4年度強化指定運動部 各競技別推薦数

	競技名	強化指定運動部(枠数)	
		男子	女子
1	陸上競技	6	
2	水泳(競泳)	1	
	水泳(飛込)	—	—
	水泳(水球)	1	
	水泳(AS)	—	—
3	サッカー	1	1
4	テニス	1	1
5	ボート	1	1
6	ホッケー	1	1
7	ボクシング	1	
8	バレーボール	1	1
9	体操(競技)	1	1
	体操(新体操)	—	—
10	バスケットボール	1	1
11	レスリング	2	
12	セーリング	1	
13	ウエイトリフティング	3	
14	ハンドボール	1	1
15	自転車	1	
16	ソフトテニス	1	1
17	卓球	1	1
18	相撲	1	—
19	馬術	1	
20	フェンシング	1	1
21	柔道	2	1
22	ソフトボール	1	1
23	バドミントン	1	1
24	弓道	1	1
25	ライフル射撃	1	
26	剣道	1	1
27	ラグビーフットボール	1	1
28	スポーツクライミング	—	—
29	カヌー	1	
30	アーチェリー	1	
31	空手道	1	1
32	銃剣道	1	
33	クレー射撃	—	—
34	なぎなた	—	1
35	ボウリング	—	—
36	ゴルフ	1	
37	スケート	—	—
38	アイスホッケー	—	—
39	スキー	—	—
40	軟式野球	—	—
41	硬式野球	—	—

計

令和4年度高等学校強化指定運動部

No.	競技名	強化指定運動部	
		男子	女子
1	陸上競技	伊賀白鳳高等学校	四日市商業高等学校
		近畿大学工業高等専門学校	松阪商業高等学校
		皇學館高等学校	—
		四日市工業高等学校	—
2	水泳(競泳)	尾鷲高等学校	
	水泳(飛込)	—	—
	水泳(水球)	四日市中央工業高等学校	—
	水泳(AS)	—	—
3	サッカー	四日市中央工業高等学校	—
4	テニス	四日市工業高等学校	四日市商業高等学校
5	ボート	相可高等学校	津商業高等学校
6	ホッケー	名張青峰高等学校	名張青峰高等学校
7	ボクシング	久居高等学校	
8	バレーボール	松阪工業高等学校	三重高等学校
9	体操(競技)	暁高等学校	
	体操(新体操)	—	—
10	バスケットボール	指定なし	指定なし
11	レスリング	いなべ総合学園高等学校	
		朝明高等学校	—
12	セーリング	津工業高等学校	
13	ウェイトリフティング	四日市工業高等学校	—
		四日市中央工業高等学校	—
		亀山高等学校	
14	ハンドボール	四日市工業高等学校	四日市商業高等学校
15	自転車	朝明高等学校	
16	ソフトテニス	三重高等学校	三重高等学校
17	卓球	白子高等学校	白子高等学校
18	相撲	宇治山田商業高等学校	—
19	馬術	高田高等学校	
20	フェンシング	海星高等学校	鳥羽高等学校
21	柔道	名張高等学校	名張高等学校
		四日市中央工業高等学校	—
22	ソフトボール	四日市工業高等学校	津商業高等学校
23	バドミントン	暁高等学校	皇學館高等学校
24	弓道	津工業高等学校	亀山高等学校
25	ライフル射撃	久居高等学校	
26	剣道	三重高等学校	鈴鹿高等学校
27	ラグビーフットボール	朝明高等学校	四日市メリノール学院高等学校
28	スポーツクライミング	—	—
29	カヌー	桑名西高等学校	
30	アーチェリー	四日市四郷高等学校	
31	空手道	川越高等学校	
32	銃剣道	皇學館高等学校	—
33	クレール射撃	—	—
34	なぎなた	—	稲生高等学校
35	ボウリング	—	—
36	ゴルフ	津田学園高等学校	
37	スケート	—	—
38	アイスホッケー	—	—
39	スキー	—	—
40	軟式野球	—	—
41	硬式野球	—	—

32校56部

## チームみえスーパージュニア強化指定事業 実施方針

令和4年度当初予算【9,000千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会等で活躍する中・高校生選手を強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模な大会で活躍が期待できるジュニア選手の育成・強化を図ることを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会やオリンピックの正式競技で、国内外の大規模な大会で活躍が期待できる本県の中学・高等学校に在籍する選手。

### 3 実施内容

#### (1) 強化選手の指定

三重県競技力向上対策本部は、競技団体の推薦を受けて、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模な大会で活躍が期待できる本県の中学・高等学校に在籍する選手を強化指定する。

#### (2) 指定期間

指定日から令和5年3月までの単年度指定とする。

#### (3) 補助対象

全国・国際スポーツ大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

- 6月 第1次強化指定選手の推薦・選定・決定
- 10月 第2次強化指定選手の推薦・選定・決定

## チームみえスーパージュニア強化事業 推薦要領

### 1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「チームみえスーパージュニア強化指定事業」に係る強化指定選手の推薦募集をするため、必要な事項を定めるものとする。

### 2 推薦

推薦は、三重県競技力向上対策本部が推薦要領に基づき、各競技団体等に募集を行うものとする。

#### (1) 対象

国民体育大会やオリンピックの正式競技で、国内外の大規模な大会で活躍が期待できる本県の中学・高等学校に在籍する選手。

#### (2) 推薦基準

全国・国際スポーツ大会で優秀な成績を収め、今後も同様の大会において活躍が期待でき、次の基準のいずれかを満たす選手。

- ① 令和3年度または令和4年度に日本代表選手として中央競技団体から選抜され国際大会<sup>※1</sup>に出場した選手。
- ② 令和3年度または令和4年度の全国大会<sup>※2</sup>において、個人で優勝を収めた選手。
- ③ この他、特に顕著な実績を収めた場合は、三重県競技力向上対策本部が別途指定する。

#### ※1 国際大会

- ア：オリンピック、アジア大会、世界選手権、アジア選手権
- イ：ユース五輪、世界ジュニア・ユース大会、アジアジュニア・ユース大会
- ウ：中央競技団体が代表を選抜するワールドツアー等
- エ：ア・イ・ウと同じレベルと認められる大会

#### ※2 全国大会

- ア：国民体育大会、全日本選手権
- イ：全国中学校体育大会、ジュニアオリンピック
- ウ：全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選抜選手権大会
- エ：ア・イ・ウと同じレベルと認められる大会

#### (3) 推薦方法

- ① 各競技団体は、「(2) 推薦基準」を満たした選手を三重県競技力向上対策本部に推薦することができる。
- ② 県内に競技団体がないオリンピック正式種目は、上記2の推薦基準を満たした選手を所属する団体（クラブチーム等）が、三重県競技力向上対策本部に推薦することができる。

三重県アスリートタレント発掘・育成事業 実施方針  
(スーパー☆プロジェクト)

令和4年度当初予算【10,000千円】

1 目的

優れた資質を有する小中学生を発掘し、様々なプログラムを通じて育成することで、国民体育大会をはじめとした国内大会やオリンピック、ワールドカップ等の国際大会において活躍することができるアスリートの輩出を目的とする。

また、トップアスリートに必要な資質である高い意識や行動力を培うことで、社会生活の様々な場面でリーダーとして活躍できる人材として育成を図ることを目的とする。

2 対象（競技）

ラグビーフットボール競技（男女）、自転車競技（男女）の2競技。

3 実施内容

- (1) 三重県競技力向上対策本部が県関係者、市町関係者、スポーツ団体関係者、学識経験者、競技団体関係者（中央競技団体、県競技団体）、日本スポーツ振興センター等と連携した運営委員会を行うとともに、プログラム部会と選考部会を行う。
- (2) 運営委員会にて、事業の内容及び計画及びタレントの選考等を決定する。
- (3) プログラム部会にて、育成プログラムの内容及び計画等を決定する。
- (4) 選考部会にて、オーディションの実施及びタレントの選考原案の作成を行う。
- (5) 実施競技団体は三重県競技力向上対策本部事務局と連携し、主体的に事業を実施する。

4 年間計画

- |     |   |
|-----|---|
| 8月  | タレントの募集開始（～11月上旬）                               |
| 11月 | オーディション実施                                       |
| 12月 | 選考部会、プログラム部会、運営委員会<br>「年間事業計画の決定」「アスリートタレントの決定」 |
| 1月  | 認定証授与式  |
- ※週2～3回程度の専門プログラムの継続実施  
※年20コマ程度の教育・育成プログラムの継続実施



## トップアスリート応援事業 実施方針

令和4年度当初予算【3,700千円】

### 1 目的

国民体育大会を初めとする全国大会で活躍するという強い意志を持って、三重県内の高等学校に入学した少年選手に対し給付金を支援することで、安定した強化活動を支えることを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会で実施される正式競技に、意欲や熱意をもって取り組むことができるとともに、今後の国民体育大会をはじめとする全国大会や本県における競技スポーツ推進の担い手として貢献することが期待でき、転居をともなって三重県内の高等学校に入学し、令和2年4月および令和3年4月に本事業で認定した選手。

### 3 実施内容

#### 給付金の給付

給付金は月額制とし、令和2年度認定選手は令和2年4月から3年間、令和3年度認定選手は令和3年4月から3年間給付する。

### 4 年間計画

#### (1) 令和2年度認定選手

- 4月 継続給付
- 3月 活動報告を確認

#### (2) 令和3年度認定選手

- 4月 継続給付
- 3月 活動報告を確認

## トップアスリート応援事業 「三重県民共済基金」実施方針

令和4年度当初予算【3,700千円】

### 1 目的

国民体育大会をはじめとする全国大会で活躍するという強い意志を持って、三重県内の高等学校に入学した少年選手に対し給付金を支援することで、安定した強化活動を支えることを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会で実施される正式競技に、意欲や熱意をもって取り組むことができるとともに、将来、本県における競技スポーツ推進の担い手として貢献することが期待でき、令和4年4月に県内の高等学校に入学した選手のうち、単身で下宿や寮生活をする選手。

### 3 実施内容

#### (1) 対象選手の推薦募集

各競技団体は、対象選手を三重県競技力向上対策本部に設置する選考委員会(以下、「選考委員会」という)に別紙推薦要領に基づき推薦することができる。

#### (2) 対象選手の選考

選考については、各競技団体からの提出書類を基に、選考委員会において行う。  
なお、選考委員については、三重県競技力向上対策本部事務局が委嘱する。

#### (3) 給付金の給付

給付金の給付は、三重県民共済生活協同組合からの寄付金による「トップアスリート応援基金」を財源に実施する。各認定選手への給付金は月額制とし、令和4年4月から3年間給付する。

### 4 年間計画

- 3月 競技団体を通じて対象選手の推薦  
選考委員会において対象選手を選考  
対象選手を決定
- 4月 給付開始  
認定証授与式

## トップアスリート応援事業「三重県民共済基金」推薦要領

### 1 対象

国民体育大会で実施される正式競技に、意欲や熱意をもって取り組むことができるとともに、今後の本県における競技スポーツ推進の担い手として貢献することが期待でき、令和4年4月に県内の高等学校に入学した選手のうち、単身で下宿や寮生活をする選手。

### 2 推薦基準

国民体育大会をはじめとする全国大会において少年種別の中心選手として、活躍が期待できる選手とする。

- (1) 国民体育大会で実施される少年種別の正式競技の選手であり、令和4年4月に県内の高等学校に入学した選手のうち、単身で下宿や寮生活をする者。
- (2) 今後の国民体育大会において、各競技団体が設定する目標達成に必要な選手であるとともに、令和3年度に県代表として出場する全国大会や地区大会等で顕著な実績を有する者。
- (3) 入学後、競技力向上に意欲的に取り組むことができる者。

### 3 募集人数

原則10名

### 4 推薦方法

各競技団体は、上記2の推薦基準を満たす選手を、選考委員会に推薦することができる。

### 5 その他

選手の選考については、各競技団体から推薦があった選手の中から、選考委員会が行う。

報告事項 6-6-4  
 令和4年3月25日  
 三重県競技力向上対策本部トップアスリート  
 応援事業「三重県民共済基金」選考委員会決定

令和4年度「トップアスリート応援事業」（三重県民共済基金）認定選手一覧

No	競技名	選手名	性別	出身県	進学先
1	水泳（水球）競技	尾上 黎真	男	兵庫県	県立四日市中央工業高等学校
2	水球（水球）競技	松田 弦皇	男	山形県	県立四日市中央工業高等学校
3	テニス競技	折坂 優羽	女	京都府	県立四日市商業高等学校
4	テニス競技	葛西 紗葵	女	静岡県	県立四日市商業高等学校
5	テニス競技	後藤 莓衣	女	静岡県	県立四日市商業高等学校
6	バスケットボール競技	大久保 結奈	女	滋賀県	四日市メリノール学院高等学校
7	バスケットボール競技	水野 桃花	女	愛知県	四日市メリノール学院高等学校
8	ソフトテニス競技	盛岡 昂生	男	徳島県	三重高等学校
9	ラグビーフットボール競技	伊藤 魁人	男	愛知県	県立朝明高等学校

## チームみえ国体選手強化事業 実施方針

令和4年度当初予算【250,000千円】

### 1 目的

栃木国体での天皇杯順位10位以内を獲得するため、活躍が期待できる本県代表選手（チームみえ）に対し、重点的な強化活動を支援することを目的とする。

### 2 対象

公益財団法人三重県スポーツ協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体。

### 3 実施内容

- (1) 競技団体ヒアリングを基に、戦力、指導体制、強化計画、組織力を三重国体と比較するとともに、東海ブロックの突破の見込や栃木国体における競技成績の見込、強化計画等に基づき強化費を配分し、競技団体が実施する強化活動を支援する。
- (3) 支援期間は一年間とするが、本国体までの強化活動を重点的に支援する。
- (4) 各競技団体は、栃木国体での目標が達成できるよう、計画的・戦略的に強化活動を進めることとする。
- (5) 支援する経費は、旅費、宿泊費、消耗品費、使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費、全国トップレベルのチームの招聘に係る経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費とする。

### 4 年間計画

- |       |   |
|-------|---|
| 4月    | 配分額の決定通知、交付申請書の提出<br>実施事業の支援（4月～本国体）                  |
| 9～10月 | 競技成績よる強化活動の検証と栃木国体に向けての活動<br>計画の作成<br>実施事業の支援（本国体～3月） |

## 女性アスリートサポート事業 実施方針

令和4年度当初予算【700千円】

### 1 目的

女性アスリートが競技を継続して取り組めるよう、女性特有の諸課題について女性アスリート、指導者及び保護者など関係者が知識習得や意識向上を図ることで、サポート体制の構築を図ることを目的とする。

### 2 対象

公益財団法人三重県スポーツ協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体及びその団体に所属する女性アスリート、指導者及び保護者等。

### 3 実施内容

女性アスリート、指導者及び保護者向けの研修会を開催し、女性アスリートが継続して競技に取り組むうえでの不安や悩みの解消に繋がる知識習得や意識向上を図る。

### 4 年間計画

5月～2月 女性アスリート、指導者、保護者向けの研修会を実施

## パラリンピック等選手強化指定事業 実施方針

令和4年度当初予算【8,700千円】

### 1 目的

パラリンピック・デフリンピックをはじめとする全国・国際スポーツ大会での活躍を目指して強化活動に取り組んでいる本県の選手を指定し、その活動を支援することで、更なる競技力の向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

出身地・居住地・勤務地のいずれかを示す住所が本県であり、パラリンピック・デフリンピックをはじめとする全国・国際スポーツ大会での活躍が期待される選手。

### 3 実施内容

#### (1) 強化選手の指定

別途定める「パラリンピック等選手強化指定事業 選考要領」に基づき、三重県競技力向上対策本部が行う。

#### (2) 指定期間

指定については、令和4年4月から令和5年3月までの単年度指定とする。

#### (3) 補助対象

全国・国際スポーツ大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費に対する補助を予算の範囲内で補助する。

### 4 年間計画

4月 強化指定選手の決定

5月 指定証交付

随時 強化活動支援

## パラリンピック等選手強化指定事業 選考要領

### 1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「パラリンピック等選手強化指定事業」に係る強化指定選手を選考するために、必要な事項を定めるものとする。

### 2 選考

#### (1) 選考方法

三重県競技力向上対策本部事務局が障がい者スポーツ関係団体との協議の上、作成した原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会が選考を行うものとする。

#### (2) 選考基準

選考は、「パラリンピック等選手強化指定事業 実施方針」の目的及び対象を踏まえることとし、次の基準のいずれかを満たすものとする。

##### ① S 指定

令和 3 年度に日本パラリンピック委員会加盟競技団体における強化指定選手に選出された実績があり、パラリンピック・デフリンピックをはじめとする国際大会での活躍が期待される選手。

##### ② A 指定

全国・国際スポーツ大会での入賞実績があり、パラリンピック・デフリンピックをはじめとする国際大会での活躍が期待される選手。



報告事項6-9-3  
令和4年4月8日  
競技力向上対策委員会書面協議決定

令和4年度パラリンピック等選手強化指定事業に係る強化指定選手

【S指定】

	名前	年齢	所属	競技(クラス)
1	井谷 俊介	26	SMBC日興証券株式会社	陸上競技 (T64クラス)
2	伊藤 智也	58	バイエル薬品株式会社	陸上競技 (T53クラス)
3	前川 楓	24	新日本住設株式会社	陸上競技 (T63クラス)
4	坂倉 航季	24	マクセルクレハ株式会社	水泳 (S14/SB14/SM14)
5	菰方 里菜	19	同志社大学	テニス
6	齋田 悟司	50	株式会社シグマクス・ホールディングス	車いすテニス
7	恩田 竜二	45	三交不動産株式会社	車いすフェンシング
8	岡田 和也	52	サイオネス・ヘルス・コマーシャル株式会社	射撃

【A指定】

	名前	年齢	所属	競技(クラス)
1	稲垣 克明	29	住友電装株式会社	陸上競技 (T63クラス)
2	保田明日美	30	パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社	陸上競技 (T63クラス)
3	相澤 稜翔	17	津田学園高等学校	水泳 (S9/SB9)
4	玉津 徹也	43	県立川越高校	卓球
5	望月 貴裕	34	中部電力ミライズ株式会社	射撃
6	長谷川 勝久	39	三重県庁	テコンドー

※年齢は令和4年4月1日現在

## 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業 実施方針

令和4年度当初予算【30,000千円】

### 1 目的

国民体育大会や全日本選手権及び日本リーグ等で、三重県を代表するチームとして活躍が期待できるチームを指定し、成年選手の重点的な競技力向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会の正式競技に取り組んでいる大学運動部、企業・クラブチーム。

### 3 実施内容

下記に示す指定基準をもとに判断し、国民体育大会や全日本選手権及び日本リーグ等における競技成績の見込等に鑑み、強化費を配分して競技団体が実施する強化活動を支援する。

#### (1) 指定期間

指定については令和4年4月から令和5年3月までの期間とする。

#### (2) 指定基準

競技団体が強化の中心として位置づけ、国民体育大会や全日本選手権及び日本リーグ等において三重県を代表するチームとして活躍が期待できるチームのうち、次の①及び②に該当するチーム。

ただし、競技団体がチームそのものとなる場合を除く。

① 団体競技は、国民体育大会に出場するチーム構成において、候補選手が複数名在籍しているチーム。

② 個人競技は、国民体育大会で入賞が見込める候補選手が複数名在籍しているチーム。

#### (3) 指定方法

強化指定チームについては、三重県競技力向上対策本部が所属競技団体と協議を行ったうえで、三重県競技力向上対策委員会において決定する。

#### (4) 補助対象

全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

4月 強化指定運動部、企業・クラブチームの決定

5月 指定証交付

随時 強化活動支援

令和4年度大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業に係る  
 強化指定チーム

チーム名	種別	競技名（種目名）
デンソー女子陸上長距離部	女子	陸上競技
ヴィアティン三重	男子	サッカー
伊賀FCくノ一三重	女子	サッカー
三重クラブ	男子	ホッケー
三重クラブ	女子	ホッケー
ヴィアティン三重	男子	バレーボール
ヴィアティン三重	女子	バレーボール
相好体操クラブ	—	体操（競技）
相好トランポリンクラブ	—	体操（トランポリン）
Revelize	女子	バスケットボール
ヴィアティン三重	男子	バスケットボール
三重バイオレットアイリス	女子	ハンドボール
エクセディ女子卓球部	女子	卓球
北勢ライディングファーム	—	馬術
三重ヴェルデウィン	男子	ソフトボール
株式会社安永弓道部	男子	弓道
三重県警察	—	ライフル射撃
三重県警察	—	剣道
PEARLS	女子	ラグビーフットボール

19チーム

## オリンピック等選手強化指定事業 実施方針

令和4年度当初予算【3,600千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会等で活躍するトップアスリートを強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、オリンピック及び国民体育大会に向けた成年選手の競技力向上を推進することを目的とする。

### 2 対象

オリンピックや国民体育大会における正式競技に取り組んでいる18歳以上の学生\*で、オリンピックをはじめとした世界大会や、国民体育大会をはじめとした国内大会で活躍が期待できる選手。

※学生

①大学生②大学院生③専門学校生④高等専門学校生（4，5年生）⑤高等専門学校専攻科生

### 3 実施内容

#### (1) 強化選手の指定

別途定める「オリンピック等選手強化指定事業 選考要領」に基づき、三重県競技力向上対策本部が強化指定する。

#### (2) 指定期間

令和4年4月から令和5年3月までの単年度指定とする。

追加指定は、指定日から令和5年3月までの単年度指定とする。

#### (3) 補助対象

全国・国際スポーツ大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

- 4月 指定選手の決定
- 5月 指定証交付
- 8月 追加指定選手の決定
- 9月 追加指定選手の指定証交付
- 随時 強化活動支援

## オリンピック等選手強化指定事業 選考要領

### 1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「オリンピック等選手強化指定事業」に係る強化指定選手を選考するために、必要な事項を定めるものとする。

### 2 選考

#### (1) 選考方法

三重県競技力向上対策本部事務局の原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会で行うものとする。

#### (2) 選考基準

選考は、「オリンピック等選手強化指定事業 実施方針」の目的及び対象を踏まえることとし、次の基準のいずれかを満たすものとする。

なお、大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業の指定チームに所属する選手及び企業等に勤務している選手については対象外とする。

#### ① 継続指定枠

ア 令和3年度に指定を行った選手で、令和4年度以降の国民体育大会・全日本選手権等の大会において入賞が見込める選手。

イ 令和3年度に指定を行った選手で、日本代表として中央競技団体から選抜され国際大会<sup>\*</sup>に出場した選手。

#### ② 新規指定枠

本県代表選手の一員として、国民体育大会において入賞が見込め、原則以下のいずれかを満たす選手とする。

ア 令和3年度に開催された全日本選手権大会において3位以上の成績を収めた選手。

イ 上記大会より上位の大会において、顕著な成績を収めた選手。

ウ 令和3年度または令和4年度に日本代表として中央競技団体から選抜され国際大会に出場した選手。

#### ※国際大会

オリンピック、アジア大会、世界選手権、アジア選手権、  
中央競技団体が代表を選抜するワールドツアー等

報告事項6-11-3  
 令和4年3月24日  
 第17回競技力向上対策委員会決定

令和4年度オリンピック等強化指定事業に係る強化指定選手

	名前	年齢 (学年)	所属	専門競技	指定枠
1	基山 仁太郎	22 (大学院1年)	日本体育大学院	レスリング	継続
2	伊藤 陸	21 (専攻科2年)	近大高専専攻科	陸上競技	継続
3	永本 聖奈	21 (4年)	至学館大学	レスリング	継続
4	戸上 隼輔	20 (3年)	明治大学	卓球	新規
5	稲垣 柚香	20 (3年)	至学館大学	レスリング	新規
6	畑 翔太郎	20 (3年)	日本体育大学	水泳(水球)	新規
7	山田 凖航	20 (3年)	日本体育大学	水泳(水球)	新規
8	小久保 真旺	19 (2年)	法政大学	フェンシング	新規
9	伊藤 京介	19 (2年)	日本大学	自転車	新規
10	藤波 朱理	18 (1年)	日本体育大学	レスリング	新規
11	高木 藍	18 (1年)	順天堂大学	体操	新規

※年齢・学年は令和4年4月1日現在

## トップアスリート就職支援事業 実施方針

令和4年度当初予算【14,330千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者（以下、「トップアスリート等」とする。）に対し、県内企業等への就職支援を行い、社業と競技活動の両立を図りやすい環境を整備することで、国民体育大会を初めとする全国大会等で安定した競技力を確保することを目的とする。

### 2 対象選手

国民体育大会の正式競技に取り組んでいる選手またはその指導者で、次に掲げる条件を満たし、採用後は「チームみえ」の一員として同大会において入賞もしくは入賞に導く能力を有する者とする。

国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる大会において、個人競技・団体競技ともに8位以上の成績を収めた成年選手またはその指導者

※ 本県の成年選手の競技力向上に必要な存在であり、三重県競技力向上対策本部が特別に認めた者については、上記の限りではないこととする。

※ 成績については、高等学校卒業後のものに限ることとする。

### 3 対象企業

県内に本社または事業所を有し、全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリート等を採用する意思のある企業等とする。

### 4 実施内容

- (1) 就職支援を行ったトップアスリート等が社業と競技活動の両立を図りやすい環境を整備するために、採用企業と調整を行い、課題改善に努める。
- (2) 令和4年度以降も安定した競技力を確保するために、成年選手強化に係る取組を県内企業に説明し、トップアスリート等の採用依頼を行う。
- (3) 求人・求職に係る情報の管理を行う。
- (4) 競技団体から推薦のあったトップアスリート等に対し、書類審査を行う。
- (5) 社業と競技活動の両立が図られるよう、トップアスリート等に対し、面談を行う。
- (6) 企業及びトップアスリート等に有益なマッチングが図られるよう、調整を行う。
- (7) 企業及びトップアスリート等に推薦者・推薦企業の打診を行う。
- (8) 採用選考の調整を行う。
- (9) トップアスリート等が培ってきた知識や経験を発揮するとともに、競技活動にも集中して取り組めるよう、企業に対し、フォローアップを行う。

### 5 年間計画

4月以降、随時、実施内容の取組を進めることとする。

## ふるさとタレントアスリート強化指定事業 実施方針

令和4年度当初予算【7,000千円】

### 1 目的

国民体育大会で活躍が期待できるふるさと選手を強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、競技力向上を推進することを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会における正式競技に取り組んでいるふるさと選手で、国民体育大会での活躍が期待できる選手。

### 3 実施内容

#### (1) 強化選手の指定

別途定める「ふるさとタレントアスリート強化指定事業 選考要領」をもとに、三重県競技力向上対策本部が強化指定する。

#### (2) 指定期間

指定については令和4年4月から令和5年3月までの単年度指定とする。

#### (3) 補助対象

国民体育大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

- 4月 強化指定選手の選考・決定
- 5月 指定証交付
- 随時 強化活動支援
- 3月 次年度の指定候補選手の選定・決定



## ふるさとタレントアスリート強化指定事業 選考要領

### 1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「ふるさとタレントアスリート強化指定事業」に係る強化指定選手を選考するために、必要な事項を定めるものとする。

### 2 選考

#### (1) 選考方法

三重県競技力向上対策本部事務局の原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会が行うものとする。

#### (2) 選考基準

「ふるさとタレントアスリート強化指定事業 実施方針」の目的及び対象を踏まえることとし、次の①～④のすべての基準を満たす者とする。

- ① 各競技団体が国体の強化選手として位置づけ、国民体育大会での活躍を期待している選手。
- ② 各競技団体が競技団体ヒアリングにおいて、国民体育大会で入賞が見込める選手として取り上げた選手のうち、次の条件に適合する選手。
  - ア 令和3年度に高等学校を卒業した選手について  
令和2年度、令和3年度に開催されたインターハイ、全国選抜大会で上位入賞の実績のある選手。
  - イ 既に大学生、社会人等である成年種別の選手について  
令和2年度、令和3年度に開催された全日本選手権、全日本学生選手権またはこれに相当する大会で入賞の実績のある選手。  
ただし、令和2年度に高等学校を卒業した選手は、令和2年度のインターハイ、全国選抜大会で上位入賞の実績も認める。
- ③ 国民体育大会（三重県予選を含む）に本県選手として出場する意思のある選手。
- ④ 他の強化指定事業と重複しない選手。

報告事項6-13-3  
 令和4年4月8日  
 競技力向上対策委員会書面協議決定

令和4年度ふるさとタレントアスリート強化指定選手

	名前	年齢	所属	競技
1	中西 琢真	27	大阪体育大学教員	陸上競技
2	村上 輝	26	日本体育施設株式会社	陸上競技
3	上山 紘輝	22	住友電気株式会社	陸上競技
4	難波 暉	25	新東工業株式会社	水泳(競泳)
5	阪本 祐也	22	富士防ホールディングス株式会社	水泳(競泳)
6	伊藤 裕馬	21	山梨学院大学	水泳(競泳)
7	堤 隆貴	18	関西大学	テニス
8	山中 朝陽	18	明治大学	テニス
9	吉岡 希紗	21	早稲田大学	テニス
10	堤 華蓮	20	慶應義塾大学	テニス
11	久保 結希凧	18	同志社大学	テニス
12	小畑 莉音	18	早稲田大学	テニス
13	丸山 愛以	18	明治大学	テニス
14	清水 大輔	33	中部電力株式会社	ボート
15	松岡 奈南	20	株式会社デンソー	ボート
16	中尾 咲月	21	早稲田大学	ボート
17	長崎 柊人	21	筑波大学	体操(競技)
18	津村 涼太	19	鹿屋体育大学	体操(競技)
19	藤田 雄大	25	自衛隊体育学校	レスリング
20	成國 大志	24	MTK GOLDKIDS	レスリング
21	弓矢 暖人	20	日本体育大学	レスリング
22	木村 颯太	20	中央大学	セーリング
23	石井 未来	24	いちご株式会社	ウェイトリフティング
24	村上 雄人	33	NTT西日本	ソフトテニス
25	近藤 拓空	18	関西学院大学	ソフトテニス
26	落合 駿	19	日本体育大学	相撲
27	柏木 慈理	22	日本大学	フェンシング
28	原田 晶寛	25	センコー株式会社	柔道
29	井上 拓茉	22	フリー	柔道
30	新井 優太	21	日本体育大学	ソフトボール
31	山田 莉瑚	20	日本体育大学	ラグビーフットボール
32	舟田 葵	21	帝京大学	空手道

※年齢は令和4年4月1日現在

## スポーツ指導員配置事業 実施方針

令和4年度当初予算【162,362千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者（以下、「トップアスリート等」とする。）を競技団体が実施する強化練習や合宿に派遣することで、本県選手の競技力向上を図ること、またトップアスリート等として国民体育大会の成年種別の競技得点を獲得することを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会の正式競技に取り組んでいるトップアスリート等で、次に掲げる条件を満たし、採用後は「チームみえ」の一員として国民体育大会において入賞もしくは入賞に導く能力を有する者とする。

国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる大会において、個人競技は3位以上、団体競技は8位以上の成績を収めた成年選手またはその指導者

※ 本県の成年選手の競技力向上に必要な存在であり、三重県競技力向上対策本部が特別に認めた者については、上記の限りではないこととする。

※ 選手としての成績については、高等学校卒業後のものに限ることとする。

### 3 実施内容

- (1) スポーツ指導員の採用は、三重県競技力向上対策本部と公益財団法人三重県スポーツ協会が協議を行ったうえで決定する。
- (2) 公益財団法人三重県スポーツ協会は、スポーツ指導員の勤務管理と競技団体が実施する強化練習や合宿等への派遣を行う。
- (3) スポーツ指導員の活動に係る旅費については、予算の範囲内で支出する。

### 4 年間計画

- 4月 協定書の締結  
4月～ 競技団体が実施する強化練習や合宿等に派遣

## チームみえ・コーチアカデミーセンター事業 実施方針

令和4年度当初予算【58,553千円】

### 1. 目的

- (1) 三重とこわか国体後の安定的な競技力を確保するために、優れたコーチデベロッパーと各年齢カテゴリー（以下、「各カテゴリー」とする。）におけるトップ指導者の養成を図るとともに、その指導を多面的に支える指導体制の構築を図る。
- (2) 各カテゴリーを超えた指導者が幅広く交流することで、チームみえとしての一体感を醸成するとともに、一貫的な指導体系を構築し、日本一を目指す指導力と資質の向上を図る。
- (3) 日本を代表するトップアスリートを輩出することで三重県のスポーツ推進を図る。

### 2. 対象

国民体育大会の正式競技の指導者で、令和4年4月から6年3月まで、2年間継続受講が可能な者のうち、(1)もしくは(2)のいずれかに当てはまる者。

#### (1) コーチデベロッパー（みえハイパフォーマンスコース）

令和3年度に本事業に参加している者のうち、栃木国体に指導スタッフとして密接に関わるとともに、今後も競技団体における競技力向上の中心的役割を担う者。

#### (2) 3期生（みえスタートアップコース）

各競技団体から各カテゴリーの中心的な役割を担う指導者として位置付けられた者のうち、以下の①～③のいずれかに当てはまる者。

- ① 三重県の競技力の向上において、各カテゴリーの県代表または県選抜チームの中心的な役割を担う主たる指導者。
- ② 優れた競技実績を有するトップアスリートで競技生活の終了に伴い、今後、三重県の競技力の向上において、指導者として活躍が見込まれる者。
- ③ 各強化指定チームの主たる指導者で、各競技団体の競技力の向上において中心的役割を担う者。

### 3. 選考

#### (1) みえハイパフォーマンスコース

1、2期生を対象に、受講意向のある者の中から指導実績や資質等を総合的に判断し、三重県競技力向上対策本部事務局の原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会が行うものとする。

#### (2) みえスタートアップコース

新規の受講生として各競技団体から推薦があった指導者について、三重県競技力向上対策本部事務局の原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会が行うものとする。

## 4 実施内容

### (1) みえコーチアカデミー

#### ① みえハイパフォーマンスコース

- ・コーチとしての資質向上に向けた学びの継続。
- ・コーチデベロッパー（コーチ育成者）としての役割を学び、これまでの学びを活かした指導の実践と伝達。

#### ② みえスタートアップコース

- ・三重とこわか国体以降の三重県スポーツの未来へ向けた多角的なテーマでの記念講演。
- ・国内トップクラスの講師を招聘した研修（コーチング論、医・科学サポート、情報戦略、県外研修等）。
- ・各種全国大会等に向けた各競技団体における指導体制等の分析や強化戦略の課題に対する指導助言（カンファレンス）。
- ・県内外指導者の運動観察・実践指導。
- ・ICTでのディスカッション及び有識者による指導助言、相談窓口。

### (2) みえマルチサポートシステム

- ・対象は両コース受講者。
- ・実践指導における指導体制上の課題解決に向けた様々なサポートの実施と検証。

### (3) みえコーチングコミュニティ

- ・対象は両コース受講者。
- ・レガシーとしてのチームみえの一体感を継続するため、最新情報等の相互発信と共有。
- ・マガジンの発行及びSNSを活用し、本事業ディレクターから最新情報提供及び受講生の現況報告や取組の情報共有。

## 5 年間計画

4月	プレミーティング（オリエンテーション）
4月～	みえマルチサポートシステムによる支援 （みえハイパフォーマンスコース）
6月	アカデミーⅠ
7月～	みえマルチサポートシステムによる支援 （みえスタートアップコース）
12月	アカデミーⅡ
3月	アカデミーⅢ
通年	県外研修、県内研修、ホームワークによるカンファレンス

## 令和4年度チームみえ・コーチアカデミーセンター事業

みえハイパフォーマンスコース受講生/コーチデベロッパー

番号	競技	所属	氏名
1	陸上競技	宇治山田商業高等学校	久保 幸弘
2	水泳(競泳)	神戸高等学校	山鹿 友昭
3	水泳(飛込)	稲生高等学校	池田 庸祐
4	水泳(水球)	稲生高等学校	松浦 靖郎
5	サッカー	桑名西高等学校	城 利英
6	テニス	四日市工業高等学校	徳丸 真史
7	テニス	四日市商業高等学校	金山 敦思
8	ボート	相可高等学校	永野 景子
9	ホッケー	名張青峰高等学校	節句田 悟
10	ボクシング	久居高等学校	片山 太一郎
11	バレーボール	松阪工業高等学校	橋本 雅司
12	バレー(ビーチバレー)	四日市商業高等学校	井上 綾子
13	バスケットボール	四日市商業高等学校	伊藤 将伸
14	セーリング	津工業高等学校	伊藤 秀郎
15	ウエイトリフティング	亀山高等学校	石井 伸子
16	ハンドボール	四日市工業高等学校	織田 洋輔
17	ハンドボール	四日市商業高等学校	蛭川 健司
18	自転車	久居農林高等学校	松本 諒太
19	ソフトテニス	三重高等学校	玉川 裕司
20	卓球	白子高等学校	森 雅幸
21	卓球	白子高等学校	村上 悠馬
22	相撲	宇治山田商業高等学校	下里 匡希
23	フェンシング	鳥羽高等学校	松本 優
24	柔道	名張高等学校	稲澤 真人
25	ラグビーフットボール	朝明高等学校	保地 直人
26	アーチェリー	四日市四郷高等学校	久野 圭太
27	なぎなた	三重県なぎなた連盟	阪 明子

報告事項6-15-3

令和4年4月8日

競技力向上対策委員会書面協議決定

## 令和4年度チームみえ・コーチアカデミーセンター事業

みえスタートアップコース受講生/3期生

番号	競技	所属	氏名
1	陸上競技	松阪市立嬉野中学校	加藤 邦佳
2	水泳(競泳)	JSSスイミングスクール松阪	北村 周
3	水泳(水球)	稻生高等学校	中川 恭輔
4	サッカー	四日市市立山手中学校	飯田 智也
5	テニス	三重グリーンテニスクラブ	後藤 理孝
6	ホッケー	名張市役所	津田 志穂
7	体操	相好体操クラブ	外村 和才
8	バスケットボール	ヴィアティン三重	中西 康介
9	レスリング	いなべ総合学園高等学校	中田 陽
10	ウェイトリフティング	石薬師高等学校	玉城 圭尚
11	ハンドボール	いなべ総合学園高等学校	大畑 俊輔
12	ソフトテニス	明和町立明和中学校	米田 司
13	卓球	津市役所	山下 貴史
14	相撲	明野高等学校	佐藤 崇
15	馬術	高田高等学校	安藤 寛
16	フェンシング	鳥羽市立鳥羽東中学校	田崎 里花子
17	柔道	名張市立名張中学校	森田 知徳
18	ソフトボール	熊野市役所	武井 麻優
19	ラグビーフットボール	住友電装株式会社	伊藤 絵美
20	スポーツクライミング	三重県山岳・スポーツクライミング連盟	小林 春彦
21	ゴルフ	津田学園高等学校	石井 正家

## 競技用具等整備事業 実施方針

令和4年度当初予算【5,000千円】

### 1 目的

国民体育大会や全国大会等において安定した競技力を確保するため、強化活動に必要な競技用具等を整備することを目的とする。

### 2 整備対象競技

本事業により、競技用具等を整備する競技は、国民体育大会における正式競技とする。

### 3 整備対象競技用具等

- (1) 競技力向上に必要と認められるもの。
- (2) 選手が大会等で直接的に使用するもの。
- (3) 高額等の理由により、個人や競技団体に整備することが困難なもの。
- (4) 既存の競技用具等が、規格外、老朽化、性能不足等の理由により、改めて整備する必要があるもの。

### 4 実施内容

- (1) 前出要件を満たす競技用具等の整備を希望する競技団体は県に申請を行う。
- (2) 県は競技特性、用具の特殊性、見積価格、ヒアリングの内容、現地調査を総合的に精査し、選定委員会において適当と認められた競技用具等を購入する。
- (3) 競技団体に対して県が購入した競技用具等を貸し付ける。
- (4) 貸し付けした競技用具等について、競技団体は責任を持って管理するとともに、引渡し、維持、修繕及び返納に要する費用を原則負担する。



## 競技団体・チームサポート事業 実施方針

令和4年度当初予算【3,062千円】

### 1 目的

運営や経営に関する課題を抱える競技団体やチームに対し、専門的な知識やノウハウを持った人材をアドバイザーとして派遣し、組織力や経営力を高めることで、持続的な運営や経営ができる体制強化を図ることを目的とする。

### 2 対象

- (1) 公益財団法人三重県スポーツ協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体。
- (2) 三重県競技力向上対策本部設置以降、国民体育大会の正式競技において、新たにクラブチームを設立し、成年種別の強化の中心として強化指定されたチーム。

### 3 選考

#### (1) 選考方法

三重県競技力向上対策本部事務局の原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会が行うものとする。

#### (2) 選考基準

対象となる競技団体やチームのうち、次の条件を満たすもの。

- ① 組織力や経営力を高めるために、体制強化が必要な競技団体やチーム。
- ② 派遣されたアドバイザーとの連携を十分に図ることができる競技団体やチーム。

### 4 実施内容

- (1) 三重県競技力向上対策本部は、競技団体やチームからの申請に基づき、運営や経営に関する知識やノウハウを持ったアドバイザーの派遣を行う。
- (2) 競技団体やチームは、アドバイザーから得た知識やノウハウを活用し、以下の事項に取り組む。
  - ① 競技団体
    - ア 競技団体の組織力の強化。
    - イ 各地域の行政機関や団体等との連携強化。
    - ウ ジュニア選手の発掘や、成年選手、少年選手の育成・強化を行う仕組みの構築。
  - ② チーム
    - ア チームの運営体制の強化。
    - イ スポンサー企業等の獲得。
    - ウ その他、チームの運営に係る財源等の確保。
- (3) アドバイザーの派遣に係る旅費や報償費を予算の範囲内で支出する。

報告事項6-17-2  
令和4年3月24日  
第17回競技力向上対策委員会決定

## 競技団体・チームサポート事業に係る対象団体・チーム

### 【競技団体】

競技団体名	競技名
三重県ホッケー協会	ホッケー

1団体

### 【チーム】

チーム名	競技名（種別）
ヴィアティン三重	バレーボール（成年女子）
Revelize	バスケットボール（成年女子）
三重ヴェルデウイン	ソフトボール（成年男子）

3クラブ

## みえのアスリート応援・発信事業 実施方針

令和4年度当初予算【7,612千円】

### 1 目的

本県代表選手として活躍するアスリートを幅広く情報発信することで、スポーツを「みる」「支える」人との一体感を醸成することを目的とする。

### 2 実施内容

#### (1) 広報紙の作成

国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等で活躍しているアスリートを幅広く情報発信できるよう、広報紙の作成を年2回程度発行する。

〔配布先〕

- ・県内の中学校・高等学校の生徒
- ・県内のスポーツ関連施設
- ・イベント等

#### (2) チームみえ啓発物の作成

県代表選手の活躍を啓発することやチームみえとしての士気を高め、一体感を醸成を図るために、チームみえのロゴ等を使用した啓発物を作成する。

〔作成物〕

- ・県代表選手及びスタッフ用チームみえポロシャツ
- ・応援グッズ等

#### (3) テレビ番組の作成

国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、活躍の期待できるチーム・選手をテレビ番組にて紹介し、幅広く情報発信を行う。

#### (4) 新聞広告の作成

新聞等にて、国民体育大会に出場する選手の特集をすることで、国民体育大会への関心を高めるとともに、選手を応援する機運を醸成する。

### 3 年間計画

- |       |                  |    |
|-------|------------------|----|
| 6・11月 | 「輝くみえのアスリートNEWS」 | 発行 |
| 5～9月  | チームみえ啓発グッズ等作成    |    |
| 通年    | テレビ番組作成          |    |
| 9月    | 新聞広告作成           |    |

## 【令和4年度暫定予算の専決処分】

## 三重県競技力向上対策本部 令和4年度暫定予算

(令和4年4月1日～6月19日)

## 1 収入

(単位:千円)

科目	令和4年度 当初予算案	暫定予算	備考
負担金	404,486	315,457	三重県負担金
計	404,486	315,457	

## 2 支出

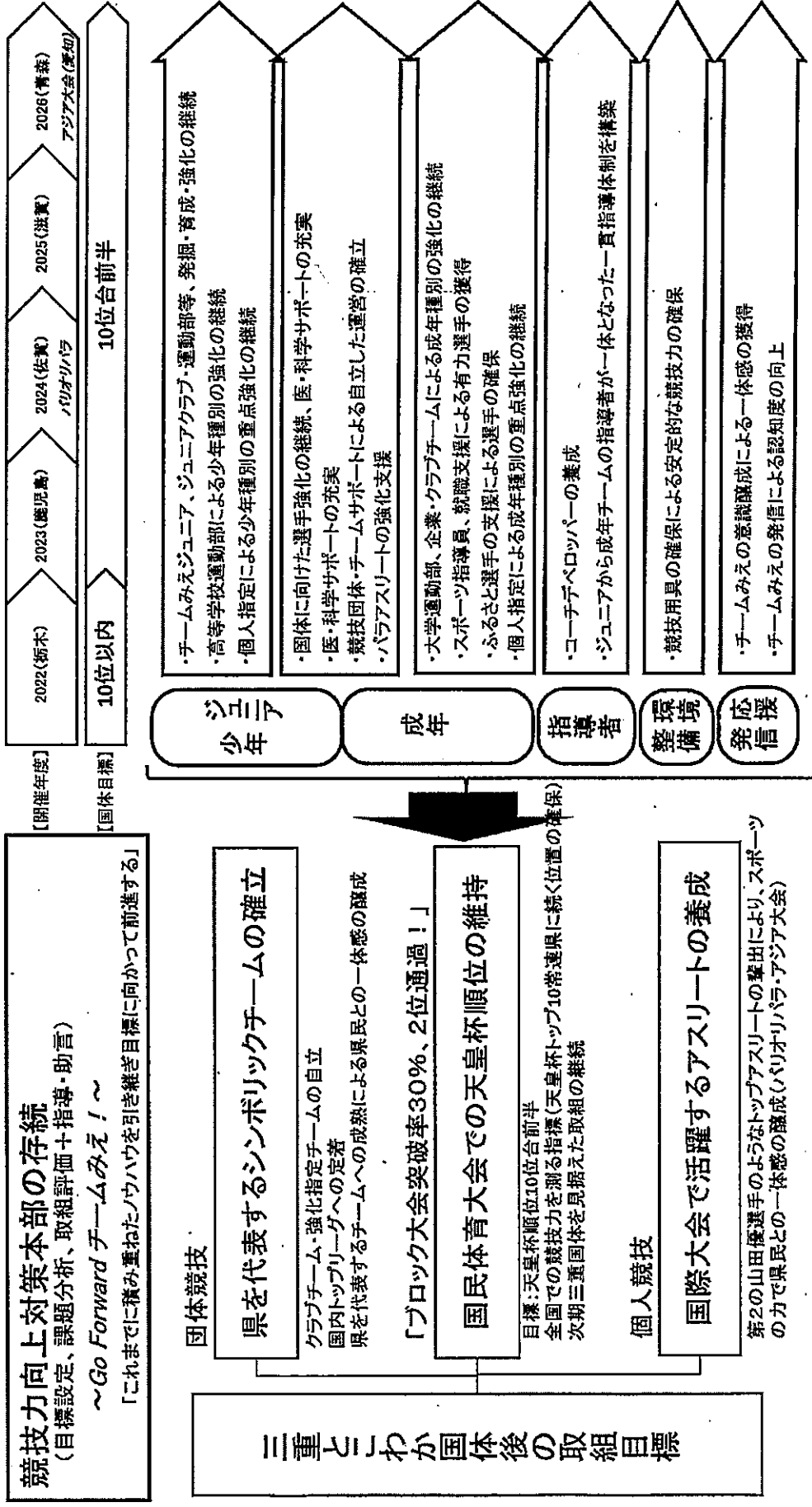
(単位:千円)

科目	令和4年度 当初予算案	暫定予算	備考
会議費	4,612	1,840	対策本部会議費等に要する経費
三重とこわか国体少年選手 強化指定事業	0	0	令和4年度事業廃止
チームみえスーパージュニア 強化指定事業	9,000	4,500	6月19日までの交付決定見込額
チームみえ国体選手強化事 業	252,232	252,232	4月1日付けで県スポーツ協会と委託契約
三重県アスリートタレント発 掘・育成事業	10,000	1,200	旧「女性アスリートタレント発掘・育成事業」 6月19日までの教育・育成プログラム経費等
大学運動部、企業・クラブ チーム強化指定事業	30,000	15,000	6月19日までの交付決定見込額
オリンピック等選手強化指定 事業	3,600	1,800	6月19日までの交付決定見込額
パラリンピック等選手強化指 定事業	8,700	4,350	令和4年度新規事業 6月19日までの交付決定見込額
ふるさとタレントアスリート強 化指定事業	7,000	3,500	令和4年度新規事業 6月19日までの交付決定見込額
トップアスリート応援事業	10,100	2,280	6月19日までの給付見込額
みえのアスリート応援・発信 事業	7,612	3,800	広報誌(6月発行)、応援物品発注等
競技団体・チームサポート事 業	3,062	1,530	令和4年度新規事業 6月19日までの旅費・報償費執行見込額
チームみえ・コーチアカデ ミーセンター事業	58,553	23,420	ブラッシュアップ研修(4月)に係る経費 6月19日までのマルチサポート執行見込額
事務局費	15	5	
計	404,486	315,457	

# 審 議 事 項



三重県競技力向上対策本部の継続と今後の競技力向上に係る取組方針（案）



三重県競技力向上対策本部規約の変更（案）

<p>(変更前)</p>	<p>第1章 第2条 本部は、<u>第76回国民体育大会</u>に向けた競技力の向上を図り、スポーツ推進の更なる発展に寄与することを目的とする。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第1章 第2条 本部は、国民体育大会に向けた競技力の向上を図り、スポーツ推進の更なる発展に寄与することを目的とする。</p>

<p>(変更前)</p>	<p>第5章 第13条 本部の事務を処理するため、三重県地域連携部<u>国体・全国障害者スポーツ大会局</u>内に事務局を置く。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第5章 第13条 本部の事務を処理するため、三重県地域連携部<u>スポーツ推進局</u>内に事務局を置く。</p>



三重県競技力向上対策本部事務局規程の変更（案）

<p>(変更前)</p>	<p>第2章 第2条 事務局は、三重県地域連携部<u>国体・全国障害者スポーツ大会局内</u>に置く。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第2章 第2条 事務局は、三重県地域連携部<u>スポーツ推進局内</u>に置く。</p>

<p>(変更前)</p>	<p>第2章 第4条2 事務局長は、三重県地域連携部<u>国体・全国障害者スポーツ大会局次長（スポーツ推進・競技力向上対策担当）</u>をもって充てる。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第2章 第4条2 事務局長は、三重県地域連携部<u>スポーツ推進局次長</u>をもって充てる。</p>

<p>(変更前)</p>	<p>第2章 第4条3 事務局次長は、三重県地域連携部<u>国体・全国障害者スポーツ大会局競技力向上対策課課長</u>をもって充てる。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第2章 第4条3 事務局次長は、三重県地域連携部<u>スポーツ推進局競技力向上対策課課長</u>をもって充てる。</p>

<p>(変更前)</p>	<p>第2章 第4条4          出納員は、三重県地域連携部<u>国体・全国障害者スポーツ大会局</u>競技力向上対策課課長補佐兼班長をもって充てる。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第2章 第4条4          出納員は、三重県地域連携部<u>スポーツ推進局</u>競技力向上対策課課長補佐兼班長をもって充てる。</p>

<p>(変更前)</p>	<p>第2章 第4条5          事務局員は、三重県地域連携部<u>国体・全国障害者スポーツ大会局</u>競技力向上対策課の職員をもって充てる。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第2章 第4条5          事務局員は、三重県地域連携部<u>スポーツ推進局</u>競技力向上対策課の職員をもって充てる。</p>

三重県競技力向上対策本部規約の変更（案）

<p>(変更前)</p>	<p>第1章 第2条 本部は、<u>第76回国民体育大会</u>に向けた競技力の向上を図り、スポーツ推進の更なる発展に寄与することを目的とする。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第1章 第2条 本部は、国民体育大会等に向けた競技力の向上を図り、スポーツ推進の更なる発展に寄与することを目的とする。</p>

<p>(変更前)</p>	<p>第5章 第13条 本部の事務を処理するため、三重県地域連携部<u>国体・全国障害者スポーツ大会局内</u>に事務局を置く。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第5章 第13条 本部の事務を処理するため、三重県地域連携部<u>スポーツ推進局内</u>に事務局を置く。</p>

## 令和3年度事業報告書（案）

## 1. 会議の開催と審議、協議の内容について

開催年月日	会議名	主な審議、協議内容
令和3年 6月1日	第9回本部会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の変更（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過（報告）</li> <li>・第76回国民体育大会冬季大会三重県選手団報告（報告）</li> <li>・令和2年度補正予算の先決処分（報告）</li> <li>・第15回三重県競技力向上対策委員会の概要（報告）</li> <li>・第15回三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項（報告）</li> <li>・令和2年度事業報告、収支決算（審議）</li> <li>・令和3年度事業計画、収支予算（審議）</li> </ul>
令和3年 11月19日	第16回競技力向上対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の変更（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部等に係る開催経過（報告）</li> <li>・令和3年度競技力向上対策事業に係る実施報告及び成果（報告）</li> <li>・令和4年度以降の競技力向上の取組（案）について（協議）</li> </ul>
令和4年 3月24日	第17回競技力向上対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県競技力向上対策本部等に係る開催経過（報告・説明）</li> <li>・令和3年度競技力向上対策事業に係る実施報告及び成果（説明・報告）</li> <li>・第77回国民体育大会冬季大会実施競技報告（説明・報告）</li> <li>・第16回三重県競技力向上対策委員会の概要（説明・報告）</li> <li>・令和4年度競技力向上に係る取組等（案）について（協議）</li> <li>・令和4年度競技力向上対策事業（案）について（審議）</li> </ul>

## 2. 選手の育成・強化について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
令和3年4月 ～ 令和4年3月	チームみえジュニア育成事業	三重とこわか国体後に少年種別で活躍が期待できるジュニア選手（小・中学生）の育成・強化活動への支援。
令和3年4月 ～ 令和4年3月	チームみえスーパージュニア強化指定事業	三重とこわか国体や国際大会での活躍が期待できるジュニア選手28名を強化指定し、その強化活動を支援。
令和3年4月 ～ 令和4年3月	チームみえ国体選手強化事業	三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得を確実なものとするため、活躍が期待できる本県代表選手（チームみえ）の強化活動を支援。
令和3年4月 ～ 令和4年3月	女性アスリートタレント発掘・育成事業	優れた資質のあるジュニア選手を発掘し、教育・育成プログラムや専門プログラムを実施し、世界大会で活躍する選手を育成。
令和3年4月 ～ 令和4年3月	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AGF陸上競技部</li> <li>・NTN陸上競技部</li> <li>・デンソー女子陸上長距離部</li> <li>・FC. ISE-SHIMA（サッカー）</li> <li>・伊賀FCくノ一三重（サッカー）</li> <li>・ヴィアティン三重 （サッカー、バレーボール、バスケットボール）</li> <li>・鈴鹿ポイントゲッターズ（サッカー）</li> <li>・みえ高田VCsala（バレーボール）</li> <li>・相好体操クラブ</li> <li>・Revelize（バスケットボール）</li> <li>・三重バイオレットアイリス（ハンドボール）</li> <li>・エクセディ卓球部</li> <li>・乗馬クラブクレイン東海</li> <li>・名張乗馬クラブ</li> <li>・北勢ライディングファーム（馬術）</li> <li>・三重県庁クラブ（ソフトボール）</li> <li>・株式会社安永弓道部</li> <li>・三重県警察（剣道、ライフル射撃）</li> <li>・PEARLS（ラグビーフットボール）</li> </ul>
令和3年4月 ～ 令和4年3月	オリンピック等選手強化指定事業	東京オリンピック競技大会及び三重とこわか国体等での活躍が期待できる20歳以上の大学生・大学院生を強化指定し、強化活動を支援。
令和3年4月 ～ 令和4年3月	トップアスリート応援事業	三重とこわか国体で活躍が期待できる少年選手20名に対し、給付金で強化活動を支援。

### 3. 指導者の養成について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
令和3年4月 ～ 令和4年3月	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	三重とこわか国体における天皇杯・皇后杯の獲得やその後の安定的な競技力の確保のため、指導者の指導力の向上や意識改革を図るとともに、指導体制の構築を図る。 (1) みえコーチアカデミー ・ブラッシュアップミーティングⅠ～Ⅳ ・県外研修、県内研修 (2) みえマルチサポートシステム ・サポートスタッフの派遣 (3) みえコーチングコミュニティ ・毎月のマガジン (NEWS LETTER) の発行 ・グループLINEでの最新情報共有

### 4. 広報・啓発について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
令和3年4月 ～ 令和4年3月	みえのアスリート応援・発信事業	本県代表選手やチームを紹介する広報誌の発行及び本県選手団のポロシャツの作成。

三重県競技力向上対策本部 令和3年度収支決算書(案)

1 収入

(単位:円)

科目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	決算額	不用額	備考
負担金	418,752,000	0	418,752,000	404,491,787	14,260,213	三重県負担金
収入合計	418,752,000	0	418,752,000	404,491,787	14,260,213	

2 支出

(単位:円)


科目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	決算額	不用額	備考
事業費	会議費	4,000,000		4,000,000	2,570,643	1,429,357
	三重とこわか国体少年選手強化指定事業	1,200,000		1,200,000	729,821	470,179
	チームみえスーパージュニア強化指定事業	9,100,000		9,100,000	8,220,242	879,758
	チームみえ国体選手強化事業	278,611,000	6,240,000	284,851,000	283,969,421	881,579
	女性アスリートタレント発掘・育成事業	10,000,000		10,000,000	5,173,182	4,826,818
	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	36,120,000	9,200,000	45,320,000	43,137,112	2,182,888
	オリンピック等選手強化指定事業	2,200,000		2,200,000	2,100,000	100,000
	トップアスリート応援事業	7,400,000		7,400,000	7,290,658	109,342
	みえのアスリート応援・発信事業	5,631,000		5,631,000	4,290,682	1,340,318
	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	64,475,000	△ 15,440,000	49,035,000	46,996,860	2,038,140
事務局費	15,000		15,000	13,166	1,834	
支出合計	418,752,000	0	418,752,000	404,491,787	14,260,213	

# 監 査 報 告

令和3年度収支決算に関する証拠書類と諸帳簿について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。


令和4年6月9日

監 事

藤本典夫 

令和4年6月9日

監 事

天野靖夫 

三重県競技力向上対策本部

本部長 一見 勝之 様



## 令和4年度事業計画書（案）

## 1 会議の開催について

- (1) 本部会議
- (2) 競技力向上対策委員会

## 2 選手の育成・強化事業について

## (1) ジュニア・少年選手

- ① チームみえジュニア育成事業
- ② ジュニアクラブ・運動部強化指定事業
- ③ 高等学校運動部強化指定事業
- ④ チームみえスーパージュニア強化指定事業
- ⑤ 三重県アスリートタレント発掘・育成事業
- ⑥ トップアスリート応援事業

## (2) 少年選手・成年選手共通

- ① チームみえ国体選手強化事業
- ② 女性アスリートサポート事業
- ③ パラリンピック等選手強化指定事業

## (3) 成年選手

- ① 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業
- ② オリンピック等選手強化指定事業
- ③ トップアスリート就職支援事業
- ④ ふるさとタレントアスリート強化指定事業

## 3 指導者の養成事業等について

- ① チームみえ・コーチアカデミーセンター事業
- ② スポーツ指導員配置事業

## 4 環境整備、広報・啓発について

## (1) 環境整備

- ① 競技用具等整備事業
- ② 競技団体・チームサポート事業

## (2) 広報・啓発

- ① みえのアスリート応援・発信事業

令和4年度競技力向上対策事業について

	事業名	対策本部事業	対象
①	チームみえジュニア育成事業		ジュニア・少年選手
②	ジュニアクラブ・運動部強化指定事業		
③	高等学校運動部強化指定事業		
④	チームみえスーパージュニア強化指定事業	○	
⑤	三重県アスリートタレント発掘・育成事業 (スーパー☆プロジェクト)	○	
⑥	トップアスリート応援事業	○	
⑦	チームみえ国体選手強化事業	○	少年・成年 選手共通
⑧	女性アスリートサポート事業		
⑨	パラリンピック等選手強化指定事業【新規】	○	
⑩	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	○	成年選手
⑪	オリンピック等選手強化指定事業	○	
⑫	トップアスリート就職支援事業		
⑬	ふるさとタレントアスリート強化指定事業【新規】	○	
⑭	スポーツ指導員配置事業		指導者
⑮	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	○	
⑯	競技用具等整備事業		環境整備
⑰	競技団体・チームサポート事業【新規】	○	
⑱	みえのアスリート応援・発信事業	○	広報啓発

三重県競技力向上対策本部 令和4年度収支予算書(案)

1 収入

(単位:千円)

科目	前年度 当初予算 (A)	本年度 当初予算案 (B)	比較増減額 (B-A)	備考
負担金	418,752	404,486	△ 14,266	三重県負担金
計	418,752	404,486	△ 14,266	

2 支出

(単位:千円)

科目	前年度 当初予算 (A)	本年度 当初予算案 (B)	比較増減額 (B-A)	備考	
事業費	会議費	4,000	4,612	612	
	三重とわか国体少年選手強化指定事業	1,200	0	△ 1,200	令和4年度事業廃止
	チームみえスーパージュニア強化指定事業	9,100	9,000	△ 100	
	チームみえ国体選手強化事業	278,611	252,232	△ 26,379	
	三重県アスリートタレント発掘・育成事業	10,000	10,000	0	旧「女性アスリートタレント発掘・育成事業」
	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	36,120	30,000	△ 6,120	
	オリンピック等選手強化指定事業	2,200	3,600	1,400	
	パラリンピック等選手強化指定事業	0	8,700	8,700	令和4年度新規事業
	ふるさとタレントアスリート強化指定事業	0	7,000	7,000	令和4年度新規事業
	トップアスリート応援事業	7,400	10,100	2,700	
	みえのアスリート応援・発信事業	5,631	7,612	1,981	
	競技団体・チームサポート事業	0	3,062	3,062	令和4年度新規事業
	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	64,475	58,553	△ 5,922	
事務局費	15	15	0		
計	418,752	404,486	△ 14,266		

↓

↘

# そ の 他

## (情報共有事項)











